

愛郷
無限

土屋館
どや
だて 通信

発行者：大曲・花火通り商店街
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2015年2月28日号 NO.511

写真提供：大仙市

☐

Subject：やねだん秋田塾 in 由利本荘

ドヤツ一前号でお願いをしました、大曲昭和49年会への昼食振る舞い。沢山の方にご協力いただき本当にありがとうございました。街場の人情と心意気、ここに集えりです。49年会皆さんは本当に素晴らしい奉納をされました。心から感謝申し上げます。

さて、気になるニュースを耳にしました。来る6月に由利本荘市で【やねだん秋田塾】が開講されるそうです。【やねだん】は昨今TVニュースにも取り上げられることが多くなった、鹿児島県鹿屋市の串良町柳谷集落の120世帯、300名が暮らす集落の通称です。この小さな集落がアイデアあふれるリーダー（自治公民館長 豊重哲郎氏）の下、行政に頼らない「むら」おこしを目指し、子供達から高齢者まで強い絆で結ばれ、土着菌堆肥からサツマイモ栽培オリジナル焼酎開発、トウガラシ栽培からコチュジャン開発といった、集団営農から六次産業化を推進、集落の独自財源を築き高齢者には一万円のボーナスが支給され、地方創生の旗手として全国的に注目されるようになりました。

また村おこし活動のみならず、その想いとノウハウを秘すること無く全国に広め、若いリーダーを育成すべく私塾【やねだん故郷創世塾】も開いています。2007年にスタートし、現在まで16回開催され、全国から参加した卒業生は600名もおり、各々の地域へ戻ってやねだんの想いと理念を伝えると共に、各地のリーダーとして育てているそうです。 やねだん <http://www.yanedan.com>

何と、そのやねだんの秋田塾が開講されるそうです。

秋田県庁の企画部で農村集落作りに長く尽力された小野一彦さんという方がおり、請われて現在は由利本荘の副市長を務めています。私も昨年お話を聞いたことがありますが、いわゆる行政職員のイメージは全くなく、数年をかけて県内の農村集落の全てを訪ね、県庁内で心ない批判を受けながらも地道にその地域の人達と一緒にあって維持活性化対策に努めた尊敬に値する方です。6年ほど前でしょうか、小樽市のスーパー公務員として高名な元内閣府企画官・木村俊昭さんを招いて由利本荘市で視察研修が開催され、私も無理言って参加することができましたが、木村さんはやねだんと深く関わっているため、それら人脈で実現出来た特別な機会なのだと思います。

由利本荘市、本気です。官民併せて若者を育てようとしています。素晴らしいです。二泊三日の合宿。現在、参加者を募集しているそうですが、大仙市行政も若手公務員のリーダー候補をぜひ参加させて欲しいですね。こんなチャンスそうそう無いことです。

<http://www.city.yurihonjo.akita.jp/www/contents/1423973728288/index.html>

～塾生募集～

「やねだん秋田塾」を開塾します！



地域の資源を活かし、行政に頼らない地域おこしの実践に成功した鹿児島県鹿屋市柳谷集落、通称「やねだん」。やねだんでは、地域振興に携わる熱血漢を対象とした「やねだん故郷創世塾」が3泊4日で開催され、そこで学んだ500名を超える卒塾生たちは、全国で地域おこしのキーパーソンとして活躍しています。

毎回、参加希望者が殺到する「やねだん故郷創世塾」ですが、このたび、熱意とやる気のある東北の地域リーダー（キーパーソン）の育成を目的に、秋田県由利本荘市にやねだんの豊重哲郎塾長をはじめとする講師陣をお迎えし、2泊3日に凝縮した「やねだん秋田塾」を開催します。

期 間：平成27年6月19日（金）～21日（日）

（6月19日（金）12：00～受付／6月21日（日）12：00～閉塾式）

会 場：「ボートプラザアクアパル ～秋田県由利本荘市北裏地54-1」

（別紙案内図参照）

対象者：熱意とやる気で地域づくりに取り組みたい方

定 員：30名程度

受講料：30,000円（交通費、宿泊代は個人負担になります）

※宿泊は、ホテルアイリス（シングル1泊朝食付き）で5,200円になります。

申込み：FAXまたはE-mailで申込みください。

（問合せ）2月13日から募集開始します。（先着順、定員になり次第締め切ります。）

やねだん秋田県支部 佐藤（由利本荘市役所 総務部内）

〒015-8501秋田県由利本荘市尾崎17 TEL:0184-24-6216/FAX:0184-23-3226

E-mail:hiroyuki-s@city.yurihonjo.akita.jp

日 程：下記のとおり



○日程案（内容は変更になる場合もあります）

| | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|------------|----|----|------|--------------|------|------|-----|-----|------|--------------------|------|----|------------------------------|------|------|----|----|----|
| 19日 （金） | | | | | | | 受付 | 開塾式 | 豊重哲郎 | 椎川 忍 | 木村俊昭 | 移動 | 名刺交換 意見交換 | → 終日 | | | | |
| 20日 （土） | 起床 | 朝食 | 森 吉弘 | 小野一彦 | 齋藤作圓 | 金子拓雄 | 昼食 | 椎川忍 | 豊重哲郎 | 市内視察 （地域活性化事例等） | | 移動 | 懇親会 （地域キーパーソンとの 意見交換会） | | → 終日 | | | |
| 21日 （日） | 起床 | 朝食 | 木村俊昭 | 塾生から プレゼン | | 豊重哲郎 | 閉塾式 | 解散 | | | | | | | | | | |

主催：やねだん秋田県支部 共催：由利本荘市地域を支える人財育成塾

後援：由利本荘市・やねだん故郷創世塾

講 師（ 指 導 助 言 者 ） の 紹 介

| | |
|---|---|
| <p>豊重 哲郎 氏（やねだん故郷創世塾塾長）</p>  <p>昭和35年、地元の高校を卒業後、東京都民銀行へ入行。昭和46年にUターンし、鰻の養殖・専門店を起業。昭和54年に串良町上小原校区公民館長に就任（～平成9年3月）。平成8年、柳谷自治公民館長に抜擢されてから地元「やねだん」の活動に奔走。土着菌とやねだん焼酎の製造など、行政の補助金に頼らない「全住民参加型の地域づくり」を展開中。現在は柳谷集落（やねだん）町内会長、内閣府地域活性化伝道師として活躍中。</p> | <p>椎川 忍 氏（(一財)地域活性化センター理事長）</p>  <p>1976年自治省入省、総務省財政課長、内閣府・総務省官房審議官、自治大学校長、総務省地域力創造審議官（初代）等を歴任し、2012年9月に総務省自治財政局長にて退官。退官後は内閣府（内閣官房）地域活性化伝道師・総務省地域力アドバイザーなどとして活躍。地域に飛び出す公務員ネットワーク代表、(株)ぐるなび顧問、コモンズ世界大会実行委員会顧問、Shiikawas経営イノベーション代表などで活躍中。2012年12月から本市の特別顧問。2014年6月から（一財）地域活性化センター理事長に就任。</p> |
| <p>木村 俊昭 氏（東京農業大学教授）</p>  <p>昭和59年小樽市入庁、産業振興課長、企画政策室主幹、産業港湾部副参事などを歴任し、平成18年4月から内閣官房・内閣府企画官として地域再生に関する調査研究などを担当。平成21年4月から農林水産省大臣官房政策課企画官として、地域の担い手育成などを担当。現在は、国の地域活性化伝道師、東京農業大学教授、コミュニティプロデューサー、一般社団法人北海道活性化機構代表理事として、大学講義や全国各地からの依頼により年間120箇所以上で講演・現地アドバイスを実施中。</p> | <p>森 吉弘 氏（就職道森ゼミ代表）</p>  <p>元NHKアナウンサー。鹿児島放送局（平成5年入局）を振り出しに、放送開始80年プロジェクト「こんにちは！80ちゃんです」で全国津々浦々を巡回し、そこでふれあった人たちのネットワークを構築。大学在学中の1992年に「森ゼミ」を立ち上げ、300人の森ゼミ卒業生が国内外で活躍している。現在、国内の25の大学で「生きる力の強い学生」や「グローバル人財」の育成に取り組む。「おもてなしコミュニケーション」をグローバルスタンダードにすべく、アジアを中心に飛び回っている。</p> |
| <p>齋藤 作圓 氏（㈱秋田ニューバイオファーム会長）</p>  <p>昭和62年農事組合法人秋田ニューバイオファーム設立理事長就任。平成7年に観光農園ハーブワールドAKITAを設立。昭和48年秋田県青年農業者会議初代会長、昭和54年秋田県農協青年部協議会委員長、平成6年秋田県農業法人協会初代会長、平成9年東北農政局農政アドバイザー、平成16年財団法人日本特産地域特産物マイスターなど歴任。平成17年11月から由利本荘市副議長（平成25年10月議員退任～通算6期）、平成20年11月に黄綬褒章受章。</p> | <p>金子 拓雄 氏（フランス鴨生産組合代表）</p>  <p>平成元年からフランス鴨を生産。独自の飼育方法で規模を拡大し、燻製、ソーセージなどフランス鴨製品の特産化開発に成功。昭和51年旧東由利町農業近代化ゼミナール会長などを歴任。現在は由利地域農業士会会長、市農業委員、秋田県農業士連絡協議会会長として尽力。昭和54年に農林水産大臣賞、平成10年秋田県アグリチャンピオンシップ経営体部門優秀賞、平成23年市農業大賞個人経営体部門経営体の部優秀賞など授賞。</p> |
| <p>小野 一彦 氏（由利本荘市副市長）</p>  <p>昭和57年秋田県職員に採用。昭和62年から自治省行政局公務員部公務員第一課事務官として派遣。秋田県総務部、議会事務局、由利地方部、商工労働部、農林水産部などを歴任し、平成20年秋田県総務企画部総合政策課政策監、平成24年企画振興部活力ある農村集落づくり支援室長として、全県大規模集落点検など、過疎化、高齢化した農村集落の維持・活性化対策のサポート事業を実施。平成26年4月から由利本荘市副市長に就任。</p> | <p style="text-align: center;">「やねだん故郷創世塾とは！」</p> <p>鹿児島県大隅半島の中にある鹿屋市串良町の柳谷地区人口300人の集落、通称「やねだん」は全員野球、補欠はいません。小さな「むら」の活力源は「人」、「人」を動かすのは「感動」！感動で人が動く「やねだん」は、年2回、3泊4日の宿泊型プログラム「やねだん故郷創世塾」を開催しています。この塾には、全国各地から「感動」を学び、体感しにやってきます。感動が感謝となって自然発生的に人が動き集まる、自主総参加型の集落づくりをこの目で見て、「感動」し、「やる気」と「熱意」を持ってそれぞれの地域に帰り行動するのが「やねだん故郷創世塾」です。</p> |

申 込 み

| | | | | | |
|--------------|-------|----|-----|----|---|
| 住所 | | | | | |
| 氏名 (ふりがな) | () | 性別 | 男・女 | 年齢 | 歳 |
| 勤務先 | | | 部署 | | |
| 電話 | F A X | | | | |
| Email | | | | | |

※ 申込み後にEmailにて連絡いたします。申込み後1週間を過ぎても連絡がない場合はお電話でお問い合わせください。